

FFGS

野毛印刷社

産性が上がり、環境に優しい工場になれるかに取り組んでいる。いままで人が動いていた仕組みを整備し、人件費を10カ月で370万円削減でき、また、中小企業として一番大事なのは人の成長であり、機械化は進ん

クルにも取り組んで「と紹介した上で、リユージョン・サーベス・プロバイダー的に、受注者ではなく提供者になり、スペインリストとして突き詰めなければならぬ」と業界の方向性に

ービスの一環としてロジスティクスの強化を進め、シュリンクから計量器でのチェックも行ってはいるほか、大震災で液状化現象に見舞われた経験から、山形の印刷会社と提携するなどBCP活動も推進中だ。



プリプレスル

ASIAMIX

引火しないUVインキ用洗浄剤

消防法非該当で画期的



「ロハスプリントUVウォッシュNF」

ASIAMIX(東海林克範社長)は、消防法、有機則、PRTTRのすべてに非該当のローラー&プランケット用UVクリーナー「ロハスプリントUVウォッシュNF」の販売を開始した。

近年、環境配慮型の製品として「有機則非該当」「PRTTR非該当」の資材が増加傾向にある

が、洗浄剤の多くは消防法に該当するため、法規制に則した危険物倉庫での管理や現場での数量制限が必要とされている。このため、印刷機近くに置くことが困難であり、現場オペレーターにとって使用することに手間がかかっていた。

新製品は、「消防法非該当」に目を向けた「引火しない」UVインキ用洗浄剤であり、管理の煩わしさから解放される待望の資材となる。手洗淨・自動洗淨の両方で使用でき、臭気が少ないことも

特長のひとつ。高感度UVインキの洗淨にも適しており、EPDM製(UV用)ローラーやプランケットを膨潤させにくい配合で、印刷トラブルも防止する。

すでに使用している印刷会社では「洗浄剤を運ぶ手間が省け、作業効率はもちろん、現場のモチベーションも上がった」と高く評価している。

ASIAMIXでは、

近く水極洗浄剤「ウェットウォッシュNF」(仮)の発売も予定しており、今後も環境対応を進める印刷会社に新たな選択肢を提案していく。

UDingに新機能

東洋インキ 産学協同で開発「ディザ」

東洋インキは、パッケージや表示物などのカラー画像の配色を、見た目の配色を変更することなくカラーユニバーサルデザイン(CUD)対応させる新機能「ディザ」を産学協同で開発、従来同社が無償配布を行っていたCUD支援ツール「UDing」シリーズに同機能を搭載したMac

OSX版ソフトウェア「UDingディザ」としてラインアップし、6月から配布を開始した。従来の画像処理では、色弱の色覚特性に起因する「元画像中で判別しづらい配色部分(難判別部分)」を抽出し、当該部分の色相を変更することで、色弱者にも判別でき

の組合せや、自宅の写真データをもとに屋根と壁の塗装の色の組合せなどを簡単に実現できる。

また、化粧品売り場で購入希望者の顔写真データを取り込んで、肌と口紅のそれぞれの色を同時に研究を進めていく。

「UDingディザ」では、画像の視認性、輝度の周波数帯域、色特性を統合した視覚特性が「質感」を再現するために重要な要素であると捉え、カラーやクワイアントなどの関係者に抵抗を感じさせる可能性があり、CUD

富士ゼロックス(本社 東京都港区)は、人の視覚特性に基づいて画像データの色や形状などの「質感」を制御することで、直観的に特定領域の印象を変化させたり、望みの色に加工できる「画

切り出すことができ、特定の領域を望みの色や質感に変えたり、切り出した画像を他の画像に合成

を元画像に転写する技術により、画像全体の印象を一致させたり、画像領域ごとに個別に印象を

この技術の活用により、車や住宅の塗装等の

行うことで実現している

目されている。同社では、画像の視認性、輝度の周波数帯域、色特性を統合した視覚特性が「質感」を再現するために重要な要素であると捉え、カラーやクワイアントなどの関係者に抵抗を感じさせる可能性があり、CUD

「画像質感制御技術」を開発

士ス

「画像質感制御技術」を開発

同機